

一般社団法人東京都ボート協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

TEL : 03-3481-2328 FAX : 03-3481-2552

URL : <http://www.tara.or.jp>

平成 28 年 3 月 4 日

出漕団体各位

一般社団法人東京都ボート協会
競技本部長 福井 徹

ナックルフォア種目エントリーの特別措置について

平素は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

第65回お花見レガッタについては、先日エントリーを締切りましたが、その過程において、幾つかの団体よりコックスを男子としてWKF出漕、同女子としてMKFへの出漕、及び整調を女子としてMKFへの出漕について相談を受けました。

本来競漕は各クルーを同一条件下でレースを行い、その順位を決するもので、その条件に適合しないクルーについては、弊協会としては一定の枠内においてオープン参加という救済措置を採用してきました。

KF種目については、少ないエントリー数ですが、根強い需要はある一方で、最近では出漕団体が男子或いは女子種目に必要とされる選手の員数を揃えることが困難な事情を背景に、こうした相談が増加しており、その対応策としてお花見レガッタでは一旦廃止した混合KNFを昨年復活させたという経緯もあります。

そこで今回の場合について当方で検討の結果、以下の理由で今次大会の特例措置として上記の正規エントリーを認めることとしました。

1. KFについては、国体種目としては既に廃止されて久しく、漕力レベルを競うというよりも、むしろ初心者を対象とした広くボートに親しめる機会を提供するという意味合いの強い種目となっている。
2. 日ボの「競漕規則」では、KF種目については舵手の体重制限規定が無い。即ち男女等の体格差による艇速への影響は考慮していない。
3. 男子種目における漕手を女子とすることについては、当該クルーを利する、或いは他クルーの不利を招くとは考え難い。

今大会関係各位におかれては、以上の状況及び措置に対するご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

なお今大会は特別措置としましたが、最近の状況からこうした申し入れは今後共継続的に出てくるものと思われるため、今後弊協会として何らかの新たなガイドラインを策定することを検討したいと考えております。

以上